維新・半田市民の会
加藤美幸

コロナ禍においての健康二次被害とは

問 新型コロナウイルス感染予防のため、外出自粛や三密をさける行動様式で、健康にどのような影響がありますか。

答 日々の活動量の減少で体重の増加、体力や筋力の低下、人と話す機会が減ることで精神的不調などの相談があり健康二次被害の影響が出ています。感染が心配で医療機関を受診できないなど健康管理への影響も出ています。

問 高齢者の「フレイル」にも影響しますか。

答 加齢により心身の活力が徐々に低下した状態を「フレイル」と言い、外出自粛による身体活動や社会活動の制限が大きく影響します。

問 健康二次被害を防ぐための対策はどのようですか。

答 市報やホームページに家庭でできる体操や口腔ケア、野菜料理などを紹介し、市民の健康づくりを促し予防に努めています。今後も新しい生活様式に対応した健康づくりを推進します。

健康マイレージの参加を増やすには

問 健康維持や健康増進のために個人で楽しみながら取組めるのが「はんだ健康マイレージ」のポイント制度です。様々な年代に参加してもらうには、多くの地元企業に協力を呼びかけ記念品の種類を増やし魅力ある事業にすべきと考えますが見解を伺います。

答 様々な機会を通じて幅広い企業の協賛を受けたいと考えます。

問 愛知県のスマートフォン専用アプリ「あいち健康プラス」は、日々の歩数記録や健康目標の設定、体重・血圧の記録などができ、健康管理や生活習慣の改善を支援しています。多くの自治体や企業が活用を始めていますが、半田市は導入についてどのように考えますか。

答 費用対効果を検証し導入の判断をします。

一般質問について

3月・6月・9月・12月の定例会では、議員それぞれが市政全般の中からテーマを選び、執行状況や考え方について質問を行っています。
（写真：9月定例会一般質問の様子）

QRコードを読み取って一般質問をご視聴ください。

半田市議会
YouTubeサイト

9月定例会の一般質問の録画映像を動画配信サイトYouTubeにて視聴することができます。「半田市議会YouTubeサイト」へのQRコードまたは、議員ごとに掲載しているQRコードを読み取ってください。

無所属
鈴木健一

新型コロナウイルス感染拡大防止対策や対応

問 半田市の感染者の症状の内訳を把握していますか。

答 県の判断となり充分な情報が得られていない状況です。

問 市民の不安を減らすために県に情報の提供を要望するべきではありませんか。

答 半田市としても要望してきましたが、中々情報がいただけません。

問 軽症者で自宅待機している方は何人ですか。

答 公表されていないため答えられません。

問 半田市でPCR検査の体制を作る考えはありますか。

答 現在、感染症法により、都道府県及び保健所設置市が実施することとなっており、半田市が主体となって実施はできません。

問 子どもと高齢者のワクチン接種はできていますか。

答 昨年のインフルエンザの予防接種では、65歳以上の方で48・2％、乳幼児期に接種する「麻しん・風しん混合接種」の接種率は98％、学童期に接種する「ジフテリア・破傷風混合接種」の接種率は52・2％となります。

問 これから冬にかけインフルエンザ行が見込まれます。チン接種をコロナとして、予算化すと考えますがどう

答 全市民に接種できないので、方を重点的に接きたいと考えて予算化する考え

問 無症状だがている方を、ためにも、介護場で働く方々に期的にPCR検考えはありません

答 まずは症状の を優先に検査いと考えます。

問 市長として、一み出して、検査をとる考えはありませか。

答 公費を使っての検は半田として無理があると考えます。

議員ごとのQRコードは、一般質問の左側に掲載しています。